

# 【蒲島県政3期目】創造的復興に向けた重点10項目について

総務常任委員会報告資料①  
令和元年11月議会 知事公室

R元.11.30時点

項目名 [担当部]		H28(2016)年度	H29(2017)年度	H30(2018)年度	R元(2019)年度	R元(2019)年度末の 到達イメージ
① 安心して希望に満ちた暮らしの創造	「すまい」の再建 [健康福祉部、土木部]	<p>(H29.5) (R1.10末) 仮設住宅等入居状況 20,225世帯 → 2,747世帯 ※H29.5のピーク時から、8割を超える被災者が住まいの再建を実現 47,800人 6,314人</p> <p>応急仮設住宅の整備完了</p> <p>住まいの再建に関する調査(2回実施)</p> <p>住まいの再建6つの支援策 ①リバースモーゲージ利子助成 ②自宅再建利子助成 ③民間賃貸住宅入居費助成 ④転居費助成 ⑤保証人不在被災者支援 ⑥公営住宅入居支度費用助成</p> <p>仮設住宅入居世帯の状況に応じた個別・重点的な対応(住まいの再建相談員21人、生活再建支援専門員22人)</p> <p>災害公営住宅の整備、既存公営住宅等への移行支援 災害公営住宅工事完了883戸(約52%) R元年度末 1,715戸(100%)整備予定</p> <p>見守り体制の充実・強化 見守り応援隊数 12(発災前) → 20(R元.10末) 地域支え合いセンター巡回訪問 445,142件(R元.9末)</p>				被災者の意向に沿った「すまい」の再建・確保を完了
	災害廃棄物の処理 [環境生活部]	<p>市町村仮置場の開設 災害廃棄物処理実行計画策定 県二次仮置場の整備、運営 地方財政負担の最小化</p> <p>災害廃棄物処理実行計画の改訂</p> <p>県の災害廃棄物二次仮置場の廃棄物処理プラントが、西日本豪雨災害の被災地岡山県で再活用</p> <p>公費解体</p> <p>災害廃棄物の処理</p> <p>災害廃棄物処理完了 <b>完了</b></p>				発災後2年以内(平成30年4月まで)に災害廃棄物の処理を完了
③ 未来へつなぐ資産の創造	阿蘇へのアクセスルート(道路、鉄道)の回復 [土木部、企画振興部、農林水産部]	<p>【R57(北側)】 ・工事着手 ← トンネル工事契約 &lt;全線貫通 早期開通に向け整備促進</p> <p>(現道) ・無人施工 ・有人施工 早期復旧に向け整備促進</p> <p>【R325阿蘇大橋ルート】 ・橋梁工事着手 早期復旧に向け整備促進</p> <p>【徳山ルート】 ・暫定開通 一部迂回路区間解消 9/14 全線復旧完了</p> <p>【長陽大橋ルート】 ・応急復旧により開通 早期本格復旧に向け整備促進</p> <p>【JR豊肥本線(肥後大津駅~阿蘇駅)】 県砂防・治山工事の実施 R元年度末 17/17箇所 工事完了予定 【JR】豊肥本線復旧事務所の設置、JR復旧工事の実施(肥後大津駅~立野駅間の先行的な復旧工事)</p> <p>【南阿蘇鉄道】 ・復旧調査(国) ・再生協議会設立 ・国の支援スキーム決定 着工 南阿蘇鉄道復旧工事(南阿蘇鉄道(株)(立野駅~中松駅間))</p>				<p>2020年度内開通</p> <p>2020年度内開通</p> <p>2020年度内開通</p> <p>県として最大限の働きかけを行い、国と連携して早期の復旧を図る</p> <p>2020年度内運行再開</p> <p>2023年夏運行再開の見通し</p>
	熊本城の復旧 [教育庁、土木部]	<p>熊本城復旧基本計画の策定(市)</p> <p>・特別見学通路の設置(市)</p> <p>2020年春 特別見学通路開通</p> <p>・天守閣復旧工事着工(市) ・熊本城天守閣災害復旧に伴う財政的支援</p> <p>2021年春 内部公開開始</p> <p>・重文等復旧工事着工(市) ・熊本城重要文化財建造物等復旧復興に伴う財政的支援</p> <p>・大天守外観復旧特別公開開始(10/5~)</p> <p>・熊本城復旧復興に伴う人的支援</p> <p>2038年 復旧完了</p> <p>・モデル地区の先行整備(H31.1~)</p>				2019年(R元年)国際スポーツ大会までに、熊本市とともに復興のシンボルとして天守閣を復旧
⑤	益城町の復興まちづくり [土木部]	<p>【熊本高森線(益城中央線)4車線化】 都市計画決定 事業認可</p> <p>・意向調査 ・アンケート、ヒアリング ・測量・詳細設計・境界立会</p> <p>・用地買収 建物等調査着手率97.5% 用地取得率72.3% ・代替地情報システムを活用し、希望者へ代替地を紹介</p> <p>・益城復興事務所開所 ・益城復興事務所移転</p> <p>・意向調査 ・大臣変更認可 ・事業計画変更決定</p> <p>・大臣認可 ・現地測量、換地設計等</p> <p>・仮換地の個別説明 ・仮換地指定(第1期:6月、第2期:9月) 第3期仮換地指定予定</p> <p>・用地買収 用地取得率100% 仮換地指定 19街区/57街区(33.3%) ・工事着工(11月~)</p>				<p>2019年度内モデル地区整備完了</p> <p>熊本高森線の4車線化について、2019年度(R元年度)までにモデル地区を先行整備~以降順次整備</p> <p>2020年6月 宅地引渡し開始の見通し</p>

# 【蒲島県政3期目】創造的復興に向けた重点10項目について

総務常任委員会報告資料①  
令和元年11月議会 知事公室

R元.11.30時点

項目名 [担当部]	H28 (2016) 年度	H29 (2017) 年度	H30 (2018) 年度	R元 (2019) 年度	R元 (2019) 年度末の 到達イメージ
<b>⑥ 被災企業の事業再建</b> [商工観光労働部]	交付決定進捗 34.7%	交付決定進捗 96.2%	交付決定進捗 99.3%	交付決定進捗 99.7% 復旧完了進捗 96.9%	グループ補助金を活用した施設・設備の復旧等による事業再建完了
<b>⑦ 被災農家の営農再開</b> [農林水産部]	営農再開を目指す農家数 15,503戸	再開率 96.9% (H30.5)	再開率 99.8%	再開率 100%	農地及び営農施設の復旧等による営農再開100%完了
<b>⑧ 大空港構想 NextStageの実行</b> [企画振興部]	「大空港構想 NextStage」策定 コンセッション方式導入表明	国内線・国際線が一体となった新たなターミナルビルの整備等 基本スキーム案の公表(6月) 実施方針等の公表(1月) 募集要項等の公表(3月) → 公募開始	新ターミナルビルの設計・建設を担う運営権者の選定(国) 国内線別棟ビルの設計・建設(国)	新運営権者によるビル事業開始(7月～) 2020.4.7～国内線別棟ビル供用開始 2023年春新ターミナルビル供用開始	阿蘇くまもと空港の新たな運営者の決定及び国内線別棟ビルの運営開始 開業を新ターミナルビルの供用開始にできるだけ近づける
<b>⑨ 八代港のクルーズ拠点整備</b> [土木部、商工観光労働部]	八代港が国際クルーズ拠点を形成する港湾に選定	岸壁工事着手 国、RCL社、県の3者合 同で基本計画を公表	工事着手 国、RCL社、県の3者合 同で完成イメージ映像を公表	2020.4～国際クルーズ拠点供用開始 専用岸壁、おもてなしエリアの整備により、年間200隻程度の大型クルーズ船が寄港可能な受入環境を実現	専用岸壁、おもてなしエリアの整備により、年間200隻程度の大型クルーズ船が寄港可能な受入環境を実現
<b>⑩ 国際スポーツ大会の成功</b> [国際スポーツ大会推進部]	2019女子世界ハンドボール大会 ラグビーワールドカップ2019	基本計画策定 プレ大会・ドイツ大会	実施計画策定 国際親善試合 アジア選手権大会(11/30～12/9)	組合せ抽選会 チーム発表(6/21) チケット販売開始(7/7) カウントダウンイベント・100日前(8/22) カウントダウンPR(10/31～) 世界女子ハンド大会期間(11/30～12/15)	2つの国際大会(女子ハンド、ラグビー)の成功を通して復興する熊本を国内外に発信

※現時点の状況をとりまとめたものであり、今後の状況に合わせて、内容修正等を行う。

※赤字: 前回(R元.5.31時点)からの変更点 ※青枠: 既に達成・完了した取組み ※黄枠: 復旧・復興の進捗のメルクマールとなるもの